

村山ひでき

市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる

小金井市議会 「みらいのこがねい」 会派ニュース



コロナに負けるな！がんばろう小金井！特別定額給付金 特集号

- 国民1人10万円の定額給付金について申請方法と支給までのスケジュールは？
- 小金井市特別定額給付金（10万円給付）コールセンターの電話042-383-1970
- 給付金のサギ（詐欺）にご注意ください！怪しいな？と思ったらご相談を！
- 【会派みらいのこがねい】コロナ対策への要望書（第2回）を提出（4月27日）

10万円給付の申請手続き方法・スケジュールご案内 ご不明な点は小金井市コールセンター：電話042-383-1970まで

4月30日に会派代表者会議が3密に配慮しつつ開催されました。新型コロナウイルスへの市の対応として、「10万円給付」、「PCR検査センターを近隣の自治体と合同で設置すべく調整中であること」、「市内事業者のために融資相談専用窓口の開設、資金繰り、地域ニーズを踏まえた飲食店への支援を行うこと」、「小中学校の臨時休校は5月31日まで延長」等の報告があり、議会からは多数の要望が述べられました。

また、小金井市は、5月1日付けで国の特別定額給付金（10万円給付）と子育て世代への臨時給付金（児童手当の1人1万円の増額）に係る補正予算（約125億円）を、特に緊急を要するため専決処分（議会の議決の前に市長が処理すること）をしました。5月6日時点で10万円給付のオンライン申請が開始された自治体は多摩26市では小金井市を含む8市です。詳細は下記をご確認ください。

1. 特別定額給付金（10万円給付）の申請方法は下記の2つです

- ①郵送申請方式：全世帯に申請書が郵送で届きますので、必要事項を記載し同封の返信封筒で返送します。
- ②オンライン（インターネット）申請方式：下記の囲み記事を参照してください

※市役所の窓口では申請書の配布や受付を行っておりません。感染拡大防止のため来庁はお控えください。

2. 小金井市での申請から支給までのスケジュール予定（※変更の可能性あり）

- 5月1日：小金井市コールセンター設置（電話042-383-1970：平日9:00～17:00）※8回線
- 5月2日：マイナンバーカードを使ったオンライン申請スタート

マイナンバーカードを持っている世帯主が申請することができます。スマホからはアプリをインストールするかQRコードを読み取って申請します。パソコンからはICカードリーダーでの申請も可能です。

申請窓口は、マイナポータル https://myna.go.jp/SCK0101_01_001/SCK0101_01_001_InitDiscsys.form

《注意》マイナンバーカードを持っていない方は、今からマイナンバーカードを申請しても発行まで1か月以上かかってしまいます。早く受け取りたい方は、11日から始まる申請書を記入し返送するのがオススメです！

- 5月11日：小金井市ホームページからの申請書ダウンロード受付開始
- 5月25日：申請書の郵便発送開始。郵送分の申請受付スタート（受付期間は3か月。8月25日まで）
- 5月29日：支給開始

3. 配偶者等からの暴力（DV）を理由に避難されている方について

DVを理由に避難している方への支援があります。ご相談は小金井市男女共同参画室042-387-9853まで

給付金のサギに注意！

小金井市、国、都の職員がATM操作、手数料の振込要求、URLをクリックしての申請を求める等は絶対にありません！

会派みらいのこがねい「コロナ危機への要望書（第2回）」を提出

村山ひできが所属する会派みらいのこがねいは、4月13日に続き2回目となるコロナ危機に対する要望書を4月27日、小金井市のコロナ対策本部に提出しました。以下に一部抜粋を掲載します。

緊急事態宣言発令に対する小金井市の対応に関する要望書（第2回）※抜粋

- ・ 補正予算を審議する臨時会の早期開催を求めるとともに会派代表者会議等での事前説明を求める。5月上旬に開催できない場合は、コロナ対策の進捗状況を議会に説明し、情報共有する場をつくること。
- ・ 早急に総合相談窓口及び専用電話を設置して、各種の相談につなげていく体制を整備するとともに、ホームページのバナートップに大きく案内すること。
- ・ 定期の市報に限らず、コロナ対策臨時号の臨時発行など、ホームページやインターネットで情報が取れない市民への周知を徹底し、情報格差がないよう配慮すること。
- ・ 我々が要望していた「融資あっせん制度」の実質無利子が実現したことを評価する。その他、市の様々な支援策を体系的にまとめた一覧を作成し、全戸配布ポスティングを実施すること。
- ・ 今後増加すると見込まれる国、東京都の様々な支援策に対する申請書類作成等の相談に関して、士業などの専門家と連携・協議し、市で対応するもの、専門家へつなぐべきものを役割分担し、市相談窓口の円滑化と的確な相談体制の強化を図ること。
- ・ 医療、交通、金融、社会福祉等の社会生活を維持する上で必要なサービス等、休めない職場の従事者・職員の精神的なケア、フォロー体制の構築を図ること。
- ・ 4月13日にも要望したが、国や都の支援策では対象とならない事業者への支援こそ基礎自治体の役割であり、市独自支援を優先的に行うこと。
- ・ 先行きの見えない中で返済が必要な融資は受けられない、あるいは条件が厳しくて活用できない事業者が多く存在する。その多くは、この1、2カ月を乗り切れるかどうかの瀬戸際であり、他自治体でも見られる家賃などの固定費への支援策を早急に検討・実施すること。
- ・ 家賃補助の借主だけでなく貸主に対する補助制度の創設を求める。国の動向が流動的で不確定ではあるが、貸主が一方的に損害を被る場合、市独自の支援策として打ち出せる準備・研究を行うこと。
- ・ 緊急事態宣言延長の有無にかかわらず、小中学校の授業再開にあたっては慎重な判断を求めるとともに、更なる長期化に備えて各家庭のインターネット環境の把握、必要とする家庭への端末と通信機器の貸し出し、各家庭への丁寧な説明などオンライン授業に向けた環境整備を早急に行うこと。

村山ひできプロフィール

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
～衆議院議員（岩國哲人・城島正光）秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
～(株)ジェイコム東京に入社し会社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し(株)ジェイコムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
民進党の解党とともに無所属に
現在、総務企画委員会の委員長を務める

《主な地域活動》

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井薪能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局
- 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はけの自然を大切にする会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

村山ひでき事務所

〒184-0004
小金井市本町 6-13-17
サンライズ武蔵小金井 702
TEL 042-386-5543
FAX 042-386-5560
携帯 090-3428-2715

Eメール

hideki@murayama.tv

WEB サイト

<http://www.murayama.tv>

Twitter

@Murayama_Hideki

Facebook

<https://www.facebook.com/hideki.murayama.52>